

敗戦五一周年の願い――

若い君たちには、  
平和で健やかであつてもらいたい！  
――なぜ、また浜松基地を強化するのか？

君は、世界平和を望みますか？ と聞かれたら  
「もちろん」と答えるだろう

五一年前の真夏

八月六日、ヒロシマにピカドン

九日にはナガサキにも原子爆弾

そして、十五日、無条件降伏

日本国中が焼け野原になりました

若い君たちは 経験しなくてよかつたね

浜松の街も 廃墟の中に 崩れ落ちたビルが

ポツンと立っているだけでした

君、なぜだと思ふ？

浜松基地があつたために 二七回も波状攻撃を受けたからだよ  
市民三千三百四十九人が亡くなりました

若い君たち 学校で憲法第九条を勉強しただろう

戦争放棄、非武装、交戦権否認！

そう、それだよ 平和憲法を大歓迎して

全国民が提灯行列をしました

君たちは知らないだろうが：

あれから五一年 君たちは、この国に生まれたんだね

軍隊を持たないと誓った我が国に 自衛隊という名の軍隊が生まれ

毎年、防衛費はウナギのぼり 浜松基地もできてしまった

そのうえ

A W A C S や空中給油機の配備が計画され

実戦基地になるという

浜松の若い君たち

基地強化の現状をどう思うかね？

焼けただれたビルを また見ることになるのだろうか？

みんなノンキにしているけれど 少し変だとは思わないかい？

平和を守るには どうしたらいいだろう 君も少し考えてみてよ！

一九九六年八月十五日（木）敗戦五一周年の日

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一の十五